

—実学の関大— 会計の頂点がここにある

MBA
in ACCOUNTANCY

Graduate School of
Kansai University,
School of Accountancy

関西大学 会計専門職 大学院

アカウンティングスクール

2024

会計専門職大学院の

1

➡ P.6参照

豊富な授業科目

キャリア設計に
最適

皆さんの進路・ニーズに応じて会計を中心に、基本→発展→応用・実践と自分のレベルに応じた学修が可能です。また、講義形式の授業のみならず、演習・事例研究といった授業も多様に展開しています。さらに、国際社会やDX化にも対応し、ニーズの高い最先端の科目を特殊講義として多数用意しています。

2

➡ P.14参照

最適な学修環境

24時間365日
自習室利用

本会計専門職大学院生専用の個人ロッカーとキャレルが設備された快適な環境で、学修することができます。また24時間365日利用が可能のため、早朝から夜遅くまで、自分の生活スタイルに合わせた学修が可能です。



3

➡ P.8・9・15参照

会計専門職大学院独自のインターンシップ制度

監査法人および企業等、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しており、また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。各種インターンシップはいずれも本会計専門職大学院独自のプログラムです。

修得した会計の
実力で実践を

4

➡ P.21参照

充実の奨学制度

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院はできる限りこれを支援しています。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金や貸与奨学金など、豊富な奨学制度を用意しています。

5

➡ P.13参照

各種試験に対応

本会計専門職大学院は、公認会計士試験合格者を多数輩出しており、公認会計士試験はもちろん、証券アナリスト、U.S. CPA、公認内部監査人(CIA)、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも広く対応しています。

10の魅力

主要講義の動画配信

理解できるまで
何度でも

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。この動画は大学や自宅で何度でも繰り返し視聴することができます。



➡ P.12参照

6

さらなる学修をサポートする課外講座

充実した授業内容に加えて、皆さんのニーズに応じた課外講座を用意しています。在学生・修了生を問わず、公認会計士試験や日商簿記1級試験等の対策ができます。
[CPA資格取得支援プログラム]

これから
学ぶ方にも

➡ P.13参照

7

導入科目群科目

会計をこれから学ぶ方には、その導入から丁寧な教育を行い、着実に理解できるよう配慮しています。

➡ P.12参照

8

梅田キャンパスでの授業開講

社会人の
方にも

阪急大阪梅田駅から徒歩5分の梅田キャンパスでも授業を開講しています。梅田キャンパスでの授業は夜間開講となっており、昼間は千里山キャンパスで受講し、夜間は梅田キャンパスでの受講もできます。また、社会人の方は終業後に梅田キャンパスで受講することも可能です。本授業は社会人と会計専門職大学院生の共同授業となっています。



➡ P.14参照

9

長期履修学生制度

本来であれば2年で修了することになりますが、その期間を3年ないし4年に延長することができます。その特徴は次のとおりです。①じっくりと時間をかけて勉強できる。②社会人の方にとっては年間の履修科目を少なくすることで働きながら学修できる。③学費は2年修了とほぼ変わらないため、年間あたりの学費を少なくできる。

➡ P.23参照

10

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。
- 2 入学試験としては、一般入試（学力重視方式及び素養重視方式）、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。
- 3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。

カリキュラム・ポリシー

会計専門職大学院では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計のセンス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

1 教育内容

- (1) 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意識した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。
- (2) 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。
- (3) 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニ

ングを可能とする個別演習指導、研究志向の学生向けの論文作成の指導科目を「横断科目」として設置している。

2 学習成果の評価

- (1) 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる。
- (2) 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。
- (3) 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。
- (4) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。

ディプロマ・ポリシー

会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士（専門職）の学位を授与します。

1（知識・技能）

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計のセンス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。

2（思考力・判断力・表現力等の能力）

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として考動力をもって社会の要請にこたえることができる。

3（主体的な態度）

国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。



研究科長

三島 徹也

MISHIMA Tetsuya

みなさん、
関西大学会計専門職大学院
(アカウンティングスクール) へようこそ！

関西大学会計専門職大学院は、世界で通用する、理論と実務に習熟した会計専門職業人を養成することを目的としています。これは単に知識としての会計を学修するだけでなく、豊かな会計センスや高度な判断・思考能力に加えて、会計専門職業人としての職業倫理をも修得し、さらには、財務や法律・税務、経営・経済などの個性ある得意分野を身につけることを意味します。私たちは、これらを身につけた「会計心をもった超会計人」として、監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人(MBA in Accountancy)を養成します。

そこで、本会計専門職大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から発展、応用・実践へと段階的な学修ができる科目を配置し、さらには、個性を伸ばす個別演習科目である各種ソリューションを置いています。学生が自分の進路や学修スタイルに応じて、明確なキャリア設計のもとで学修することができます。ほかに、学生がいつでも学修できるように、24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意しています。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つけませんか。私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の努力をします。

コンテンツ Contents

- 2 会計専門職大学院の10の魅力
- 4 設置の理念
- 5 ごあいさつ・コンテンツ・研究科概要
- 6 カリキュラム
- 7 履修モデル
- 8 講義紹介／インターンシップ体験談
- 10 在学生・修了生からのメッセージ
- 11 カリキュラムツリー
- 12 サポート体制
- 14 施設紹介
- 15 就職支援
- 16 公認会計士試験合格者体験談
- 17 会計専門職体験談
- 18 教員スタッフ
- 21 学費・諸費／奨学制度
- 22 入試概要

研究科概要

名称 (英訳名)	関西大学大学院 会計研究科 会計人養成専攻(専門職学位課程) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)
通称	関西大学会計専門職大学院 関西大学アカウンティングスクール
設置形態	専門職大学院
学位名称 (英訳名)	会計修士(専門職) (Master of Business Administration in Accountancy)
入学定員	40名(収容定員80名)
教員スタッフ	専任教員13名 (うち、研究者教員7名、実務家教員6名) 兼任教員 1名 兼任教員 33名
授業形態	昼間開講(一部科目を夜間に開講)
修業年限	2年(長期履修学生制度あり)
修了所要単位	48単位
履修制限単位	32単位(1年間)

※ 2023年4月現在

会計心(Accounting Mind)をもった 超会計人の養成

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。

積上げ式の科目群として、「導入科目群」「基本科目群」(会計専門職のための基礎的教育)、「発展科目群」(会計専門職としての発展的教育)、「応用・実践科目群」(会計専門職としての実務適応教育)。

横軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」。

さらに、先端的・学際的な特徴ある科目として、特殊講義(Specific Lecture)、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目(学修・進路指導)、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2023年度入学生適用カリキュラム>

系 統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
導入科目群	中級商業簿記	中級工業簿記			
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論 英文会計論 IFRS 会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 内部監査論 国際監査基準論	商取引法 会社法 民法 法人税法 上級税務会計論 上級会社法 租税法理論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 統計学 ミクロ経済学 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論 マクロ経済学
発展科目群 特殊講義 (Specific Lecture)	公会計論 BATIC 演習 IFRS 演習 貸借対照表論	コンサルティング実務	自治体マネジメントと監査 不正摘発監査論 国際監査事例研究 会計検査制度論	民法(債権)	資本市場論 起業・株式公開事例研究
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS 事例研究 ディスクロージャー実務	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション
横断科目	■発展科目群《特殊講義(Specific Lecture)》 税務と会計 ※ 会計専門職業数学 企業情報の読み方と使い方 ※ 新規ビジネスの立上げと成長戦略 ※ 企業マネジメントと会計 ※梅田キャンパス開講科目		■応用・実践科目群 アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 論文指導(導入) 論文指導(基礎) 論文指導(実践) 修士論文 監査法人インターンシップ 企業インターンシップ		

・修了に必要な単位数

以下の科目を含めて48単位以上を修得しなければなりません。ただし、中級商業簿記および中級工業簿記を修了所要単位に算入することはできません。

- (1) 基本科目群:16単位
- (2) 発展科目群:16単位
- (3) 応用・実践科目群:12単位

・履修制限単位

1年間32単位

(ただし、導入科目群科目および監査法人インターンシップ、企業インターンシップは含めません。)

・単位数

「論文指導(実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位

・学年暦・時間割をチェック!!

会計専門職大学院の
ホームページで
学年暦や時間割をご覧ください。



研究科紹介

📄 [学則](#)

👤 [学生数](#)

📅 [学年暦](#)

🕒 [時間割](#)

履修モデル

進路やニーズ、個々のレベルに応じた履修が可能

履修モデル① 【公認会計士】をめざす

〔2023年度入学生適用カリキュラム〕

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	会計基準論 会計制度論 貸借対照表論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 不正摘発監査論	会社法 上級会社法 法人税法 上級税務会計論	経営学理論 経営戦略・組織論 ミクロ経済学 マクロ経済学
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究	管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 監査法人インターンシップ				

ここが
ポイント!

公認会計士短答式試験に合格できる学力を「基本科目群」の履修により修得し、「発展科目群」から公認会計士試験に対応する科目を能動的に選択することで論文式試験に合格できるレベルに到達できる。さらに監査業界のリーダーとして活躍できる考動力を身につけるために、「応用・実践科目群」と個別演習科目等から深く学ぶ。

履修モデル② 【組織内会計専門職】をめざす

〔2023年度入学生適用カリキュラム〕

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	会計基準論 英文会計論 IFRS会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 コンサルティング実務	内部監査論 国際監査基準論 国際監査事例研究	会社法 上級税務会計論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 実践会計プログラム演習 IFRS事例研究	国際管理会計事例研究	基本監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 企業インターンシップ				

ここが
ポイント!

会計専門職として必要となる基礎的な専門知識を「基本科目群」の履修により修得したうえで、「発展科目群」から自らが得意としたい分野について、国際やIT分野、ならびに「法律・税務系」、「経営・経済系」の中から選択できる。さらに企業や自治体等の組織において専門職として活躍するための高度な実践的能力を「応用・実践科目群」と個別演習等を履修することで修得する。

関大ASで公認会計士をめざす

高度な資格に基づく会計専門職業人をめざす学生のために、資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的能力の修得をサポートします。

ピックアップ講義

会計専門職業倫理



教授

清水 涼子

SHIMIZU Ryoko

実務家教員：公認会計士

監査および会計の専門家である公認会計士には、公益上の使命と職責を果たすために、専門的知識に加えて、独立性の保持をはじめとする倫理に関する高い意識が求められています。会計専門職大学院には、とりわけ高度な職業倫理観を備えた会計プロフェッションの育成が期待されているのです。このような社会的要請を受け、関西大学会計専門職大学院では、会計・監査・財務サービスの高度化・拡大への対応の柱の一つとして「公益を意識した職業倫理観を醸成」する教育を掲げています。本科目は、まさにこの目的を達成するための必修科目であり、健全な会計マインドと高度な職業倫理観を備えた人材の育成を目的とします。授業は、理論・制度・実務の3本柱で構成し、通常の講義形式のみならず、ディスカッション、ロールプレイ、プレゼンテーション等を通じて、さまざまな角度から職業倫理の意義を考察することにより、最終的には正しい倫理的意思決定能力を身につけることをめざします。

+α

監査法人インターンシップ体験談

【インターンシップ先】EY新日本有限責任監査法人

【実習期間】2022年2月24日(木)(1日)



藤岡 巧さん

FUJIOKA Takumi

2年次生

監査実務を実際に体験することで、大学院で学修した知識と実務とを関連付けて監査の理解を深めるとともに、今後の資格取得や就職活動に活かしたいと考え、インターンシップに参加しました。

インターンシップでは、財務会計アドバイザリーを体感するワーク、監査を体感するワーク、消費財ビジネスを体感するワークを行い、会計プロフェッションとして求められる能力・知識、実務で重要となる視点・考え方を学びました。監査を体感するワークでは、財務数値の分析、経営者へのヒアリングを通じて不正リスク要因を把握し、それを基に必要となる監査手続をチーム内で検討するといった経験をしました。この経験により、普段の学修と実務との関係性を理解することができたほか、監査業務の魅力を実感でき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

インターンシップを通じて、会計プロフェッションとしての仕事の魅力を感じ取ることができ、公認会計士資格取得の意欲や自らの知識を活かして社会に貢献したい気持ちが高まりました。

関大ASで企業人や公務員等をめざす

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を修得します。企業の経理担当者や公務員をめざす学生のためにさまざまなサポートを行います。

ピックアップ講義

資本市場論



特別任用教授
小林 依子

KOBAYASHI Yoriko

実務家教員：公認会計士

資本市場とは、一般的に企業の長期資金調達取引が行われる市場であり、資金の出し手である投資家、受け手である企業、そして監査人が存在しています。この資本市場では、会計が共通言語であり、それを基礎に、コーポレート・ファイナンスに代表される企業価値の算定や評価等の手法が確立され、実務で幅広く活用されています。公認会計士をはじめとする会計専門職は、この資本市場において、制度上の役割だけでなく、その専門知識を活かしてさまざまな役割を担っています。本科目は、できるだけタイムリーな話題を取り上げて、ダイナミックな生きた市場を体感してもらうとともに、資本市場の現状、ガバナンス改革、企業評価の手法等のほか、非財務情報などの新たな潮流について学びます。また、通常の講義形式のみならず、グループワークやディスカッションを通じて、自ら資本市場の在り方を考える場でもあり、会計専門職としての実践・応用力の養成をめざしています。

+α

企業インターンシップ体験談

【インターンシップ先】住友精化株式会社

【実習期間】2022年8月25日(木)～31日(水) (5日間)



北小路 彩加さん

KITAKOJI Ayaka

1年次生

私は現在、公認会計士をめざしており、これまでは試験突破を第一に考えてきました。しかし、会計実務やその現場に実際に触れることで、将来自分が会計専門職業人としてどのように働いたり、キャリアを築いたりするのかを改めて考える機会にしたいと思い、インターンシップに参加しました。

インターンシップでは、経理職の業務について、財務会計から管理会計や資金調達などに至るまで網羅的に座学を受けたり、工場見学をさせていただいたりしました。座学では、理論と実務の違いについてどのような対応がなされているかというお話が特に印象に残っています。また、理論と実務の橋渡しをするには、知識はもちろんですが、会計数値を算出するよりも、それを使ってどのように動かせるかの方が重要であるのだと感じました。

インターンシップを通して、関西大会計専門職大学院で過ごす時間を、より有意義で実りあるものにしたいと強く思うようになりました。インターンシップに参加して本当に良かったです。

※プロフィールの学年は2023年3月時点

在学生からのメッセージ

公認会計士試験合格はもちろん
さまざまな目標をもった学生が日々の学修に励んでいます。



佐々木 風子さん
SASAKI Fuku
2年次生

私は、どの企業においても必要となる会計について興味をもち、理論的に深く学びたいと思ったため会計専門職大学院進学を決めました。

関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を選んだ理由は、学部時代にお世話になった教授が本学ASの教授であったことや多様な授業、パソコン教室、専用自習室があり、学修環境が非常に充実していることが魅力的だと感じたからです。

私は現在、公認会計士試験合格をめざしています。学修環境が本学ASを選んだ理由の一つですが、実際に、充実した学修環境の中で集中して勉学に励むことができ、良かったと感じています。また、同じように職業会計人をめざす友人の存在や、授業や基礎講座、本学AS向けの監査法人インターンシップを通して、実際に公認会計士として働く方と関わり、私自身が公認会計士として活躍する将来を具体的に想像できたことは、勉強を続ける中で非常に高いモチベーションとなりました。

主な1日の スケジュール	7:00	10:30	12:10	13:00	17:00	20:00	22:30	24:00
	起床・準備・移動	授業	昼食・ 休憩	自習	移動・夕食・入浴等	自習	自由時間	就寝

修了生からのメッセージ

公認会計士・監査法人以外でも
多様な分野で「超会計人」のOB・OGが活躍しています。

CASE 1



王 昌隆さん
OU Masataka
2013年3月修了

日本新薬株式会社 経理・財務部 勤務

大学に進学後、何か自分の力になるものを身につけようと思い、資格取得を考えました。その資格が簿記であり、会計との出会いでもありました。勉強を続ける中で、資格取得で終わるのではなく、より深く体系的に学びたいと考え、大学院進学を志しました。関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に決めた理由は、24時間利用可能な自習室のほか、図書資料室やパソコン教室など学修環境が充実していると感じたためです。この環境は就職活動においても、非常に役立ちました。

在学中は事例研究を通じて財務会計、内部統制について専門的に深く学ぶとともに、リスク・マネジメントや金融論など幅広い知識も得ることで多角的な視点を培うことができました。また、切磋琢磨できる仲間と議論したことは何より貴重な時間となり、その関係が今でも続いていることは何物にも代えがたい経験になっています。

現在は経理職を務めていますが、限られた時間の中で会計士とより質の高いコミュニケーションを図ったり、決算を通じて従業員向けに会計の説明を行ったりするなど、本学ASで得た知識を活かすことができます。

CASE 2



松下 紗己さん
MATSUSHITA Saki
2012年3月修了

藤田観光株式会社 企画本部 経理・財務IR部 勤務

私は関西大学法学部在学中に商法分野を学修する延長で簿記に触れ、さらに見識を深めたいという思いから関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)への進学を決めました。

本学ASでは、会計の専門知識を深く学べるのはもちろんのこと、さまざまな応用・実践科目を履修することで、実務に対応する能力を身につけられることが大きな魅力だと感じました。

実務では、試験の問題文とは違い前提条件が提示されませんので、ゼロから情報を収集し一つの結論を導き出す必要があります。また、結論を社内にわかりやすく展開する必要もあるので、複雑な取引の処理になればなるほど、単純な知識だけでは対応できないと感じます。在学時に履修した演習や事例研究の講義では、会計処理方法の知識だけではなく、会計基準等の制度趣旨を念頭に置いた考え方で解決方法を模索したり、会計以外の情報を収集したりと、多角的なアプローチ方法で課題解決をしました。その経験が、今の自分自身の仕事に活かされていると感じています。

● 導入科目群

● 基本科目群

● 発展科目群

● 応用・実践科目群

DP ディプロマ・ポリシー

PP プログラム・ポリシー

PP

理論と実務に習熟した
「財務に強い」会計専門職業人

PP

理論と実務に習熟した
「法律・税務に強い」会計専門職業人

PP

理論と実務に習熟した
「経営・経済に強い」会計専門職業人

2年次

DP3

DP2

DP1

1年次

DP3

DP2

DP1

● プロフェッショナル・ソリューション ● 論文指導(実践) ● 修士論文

● 実践会計
プログラム演習
● IFRS事例研究
● ディスクロージャー実務● 国際管理
会計事例研究● 実践監査
プログラム演習● 企業法判例演習
● 税務事例研究● 企業実践
コミュニケーション● 英文会計論
● IFRS会計論
● 組織再編会計論● コストマネジメント論
● 企業価値マネジメント論
● マネジメント・
コントロールシステム論● 内部監査論
● 国際監査基準論● 上級会社法
● 租税法理論
● 租税法会計論
● 国際税務論● コーポレート・
ファイナンス論
● インベストメント論
● マクロ経済学

● 会計専門職業倫理

● アカデミック・ソリューション ● 論文指導(導入) ● 論文指導(基礎) ● 監査法人インターンシップ ● 企業インターンシップ

● 基本会計
プログラム演習
● 会計事例研究
● 会社経理実務

● 管理会計事例研究

● 監査事例研究
● 基本監査
プログラム演習● 商取引法
● 会社法
● 民法
● 法人税法
● 上級税務会計論● 経営学理論
● 経営戦略・組織論
● 統計学
● ミクロ経済学● 会計基準論
● 会計制度論
● 財表作成簿記論● 戦略管理会計論
● 企業分析論● 監査実施論
● 監査報告論● 商取引法
● 会社法
● 民法
● 法人税法
● 上級税務会計論● 経営学理論
● 経営戦略・組織論
● 統計学
● ミクロ経済学

● 上級簿記論 ● 上級財務会計論 ● 上級原価計算論 ● 上級管理会計論 ● 監査制度論 ● 監査基準論 ● 企業法

● 中級商業簿記 ● 中級工業簿記

財務会計

管理会計

監査

法律・税務

経営・経済

DP1(知識・技能)

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。

DP2(思考力・判断力・表現力等の能力)

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として行動力をもって社会の要請にこたえることができる。

DP3(主体的な態度)

国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。

入学前

在学中

入学前教育プログラム

入学前

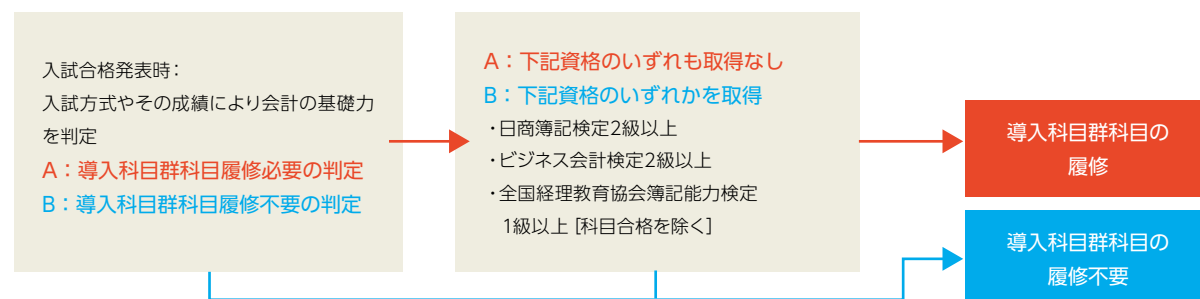
新学期からの学修に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学修を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的として、入学前教育プログラムを実施しています。

導入科目群科目

在学中

本会計専門職大学院は、会計について基本的な知識を有していることを前提に、高度で専門的な知識を段階的に提供していますが、入学生の中には、「超会計人」になるための素養は有しているものの、会計についての基本的な知識をまだ有していない方もおられます。そこで本会計専門職大学院では、入学前教育プログラムに加えて、特にこうした方を対象に、専門的な学修を行う前段階として、導入科目群科目（「中級商業簿記」「中級工業簿記」の2科目）を設置し、入学後に提供しています。なお、導入科目群科目の履修対象者は、その単位修得まで、基本科目群科目（「企業法」「監査制度論」「監査基準論」を除く）の履修は認められません。

【導入科目群科目 履修決定のフロー】 Aの場合→へ Bの場合→へ



動画配信

履修している基本科目等の主要科目については、パソコン等のデバイスからその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のために大変有益です。無料で、かつ何度でも閲覧することが可能です。



ソリューション

ソリューション科目は個別演習科目であり、その内容は、1年次配当のアカデミック・ソリューションと2年次配当のプロフェッショナル・ソリューションの2つから構成されています。

本科目では、会計専門職業人として身につけるべき会計的センスとスキルの涵養を目的とします。会計専門職業人として期待されるのは、単なる専門知識ではありません。1つの課題に

対して、種々の情報を収集し、それらを分析した後、分析結果を報告書として取りまとめ、説得力のある形でプレゼンテーションを行い、さらにディベートもできることは、会計専門職業人のみならず、社会人としても必須のスキルといえるでしょう。

本科目は複数のクラスが開講され、それぞれ異なる専門分野の教員が上記のスキルの養成に向けて指導します。そのため、アカデミック・ソリューションの専門分野と異なる専門分野のプロフェッショナル・ソリューションを受講することもできます。さらに、学生の幅広い個々のニーズに応えるべく、上記の学修指導に加えて進路指導も行います。



修了後

在学中 修了後

課外講座

本会計専門職大学院の在學生と修了生は、時間をかけて予備校に行かずとも、公認会計士試験対策の講座を受講することができます。

また、自習室から近い教室で実施されるため、時間を有効活用しながら、試験対策が可能です。修了生の受講者については、引き続き自習室を利用することもでき、快適な環境で効率的に学修時間を確保することができます。

CPA資格取得支援プログラム

公認会計士試験(短答式、論文式)に特化した、より実践的なレベルでの本格的な対策を行うことで、CPA試験の合格をめざします。この講座は「資格の学校TAC」と提携し、試験傾向や出題者である試験委員の専門分野などを徹底分析したTACオリジナルテキストや試験問題を使用して運営されます。

担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

受講者のメッセージ

公認会計士試験合格をめざしている私は、資格取得に効果的だと考え、このCPA資格取得支援プログラムを受講しました。この講座の魅力は大きく3つあります。1つ目は料金面です。通常、公認会計士試験の専門学校に通うには多額の学費が必要となりますが、本プログラムは費用がかなり低く設定されており、資金面に悩むことなく受講できます。2つ目は時間面です。本プログラムは、普通の授業が行われている教室を使用するので、通学の時間を節約することができます。また、授業と重複しないようにスケジュールが組まれてあるため、授業との両立も十分に可能です。最後に本プログラムについてです。プログラムの内容は初学者を中心に構成されていますが、短答式試験対策や論文式試験対策の答練も充実しており、経験者でも学ぶことの多いものになっています。1科目から受講できるので苦手科目のみ受講するのもおすすめです。

これからCPA資格取得支援プログラムを受講される皆さんの公認会計士試験合格をお祈りいたします。



松谷 晃太郎さん
MATSUYA Kotaro
1年次生

各種試験

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験(公認会計士、U.S.CPA、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等)に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除(財務会計論、管理会計論および監査論)を申請することができます。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



修了後

※プロフィールの学年は2023年3月時点

会計専門職大学院自習室

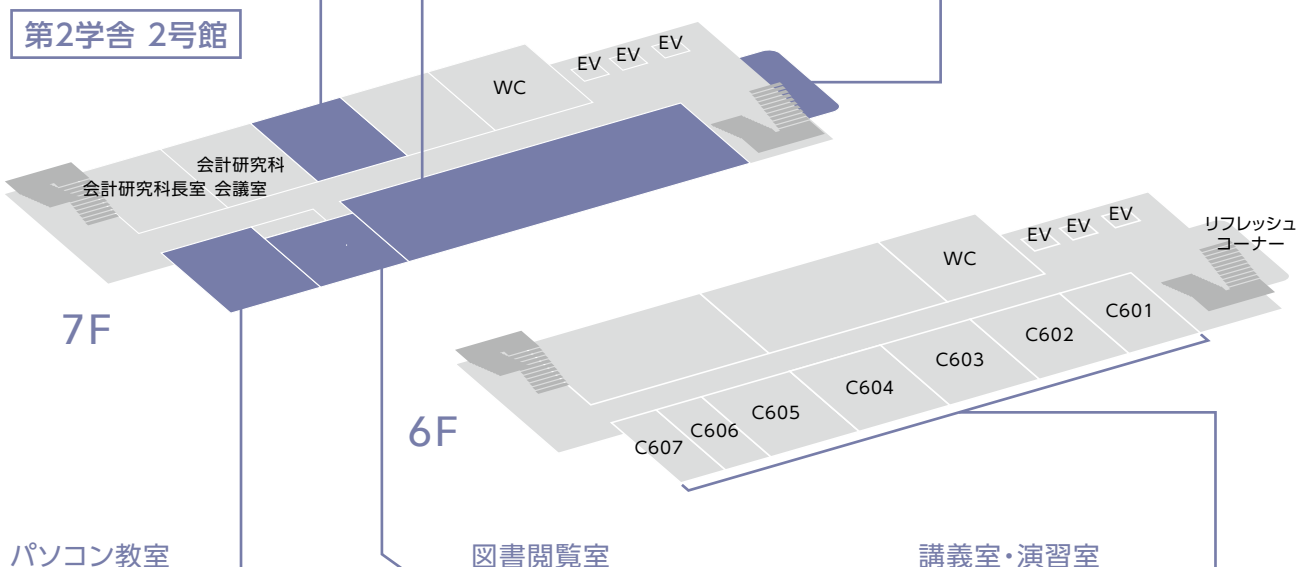


本会計専門職大学院生専用の自習室を、第2学舎2号館に設置しています。開放的で利用しやすい自習室を「24時間365日利用可能」です。同建物内1階にコンビニと食堂もあります。また、自習室内には個人ロッカーも設置しており、非常に快適な環境で自習することが可能です。

図書資料室



本会計専門職大学院生専用の会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。



パソコン教室



パソコン教室では「会計監査プログラム」等のソフトウェアを使った授業が行われます。

図書閲覧室



新聞や会計関係の雑誌を閲覧することができます。

講義室・演習室



講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。7階に自習室、1階にはコンビニ、食堂もあり、非常に快適な学修環境を提供しています。

総合図書館

総合図書館は、地上3階・地下2階からなり、21,750㎡の総面積を持つ、大学図書館としてはトップクラスの設備と規模を誇る施設です。高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館を含め、蔵書数は237万冊以上あります。

第2学舎1号館(教務センター)

教務センター(会計研究科担当)があり、履修や修学・学生生活に関する相談・質問に対応します。

梅田キャンパスでの授業開講

関西大学梅田キャンパスで、会計専門職大学院の授業の一部を夜間の時間帯で開講しており、自分のライフスタイルに合わせた科目履修が可能になります。また、梅田キャンパスで開講されるビジネス講座は、広く社会人にも開放しています。

※2023年度は春学期1科目、秋学期2科目



就職支援

専門分野での就職をめざす人へ

本学OB・OGを含む現役の業界人の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会等を開催しています。

いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを活かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。

一般企業での就職をめざす人へ

本学キャリアセンターとの連携・協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。

1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。

そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本会計専門職大学院についての広報活動を行ったりするなどの支援も実施しています。



2022年度参加の監査法人は、有限責任あずさ監査法人、PwCあらた有限責任監査法人、仰星監査法人、EY新日本有限責任監査法人、BPO三優監査法人、有限責任監査法人トーマツ、太陽有限責任監査法人の7社でした。

■インターンシップ

監査法人インターンシップに加え、本会計専門職大学院独自の企業インターンシップを実施しています。

(過去5年間の実績)

監査法人	企業
有限責任監査法人トーマツ	住友精化株式会社
	株式会社カネカ
有限責任あずさ監査法人	住友理工株式会社
	株式会社オービック
EY新日本有限責任監査法人	あすか税理士法人
PwCあらた有限責任監査法人	日本経営ウィル税理士法人
	税理士法人 和

就職状況

本会計専門職大学院では、在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院=公認会計士=監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

過去5年間の修了生のおもな就職先

● 巖本金属株式会社	● 京都税理士法人	● デルタ電子株式会社
● あすか税理士法人	● 株式会社阪急アクトフォー	● 株式会社平和堂
● Huawei Technologies Co., Ltd.	● 大阪国税局	● 税理士法人 和
● 合同製鐵株式会社	● サントリーホールディングス株式会社	● 株式会社ウィルテック
● 株式会社コナミデジタルエンタテインメント		ほか

CASE

1

PwCあらた有限責任監査法人 勤務

関西大学会計専門職大学院の魅力

末吉 加奈さん SUEYOSHI Kana 2018年3月修了

私は公認会計士をめざすことを決め、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学し、ほぼ同時期に専門学校に通い始めました。日中は本学ASに通学し、夕方から専門学校の授業や答練を受けるという日々でした。

私にとって、本学ASの最大の魅力はゼミでの学びです。私は監査論の松本祥尚先生のゼミに所属しながら、企業法の三島徹也先生のゼミにも参加していました。ゼミでは知識をアウトプットし、先生に添削していただく機会が多くあったので、監査基準や会社法の趣旨を理解し、専門用語を正しく使うことを学びました。実際、公認会計士試験論文式試験でこの2科目の成績が良く、在学中に試験合格することができました。

また公認会計士試験短答式試験の一部免除があることや新卒で就職するという選択肢があることは、公認会計士試験にすぐに合格できない場合のリスクヘッジとしても心理的に安心を与えてくれ、本学ASに通う魅力の一つと感じていました。

公認会計士をめざす方は、本学ASに進学することをおすすめします!



CASE

2

EY新日本有限責任監査法人 大阪事務所 勤務

関西大学会計専門職大学院での学び

関本 明浩さん SEKIMOTO Akihiro 2018年3月修了

私は大学在学中から、卒業後はすぐに働きたいという思いはあるものの、40年以上同じ会社に勤めるということをイメージできませんでした。そのため、転職や独立した際にライセンスがあるのは強みになると思い、公認会計士資格を取るべく関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しました。本学ASでは、公認会計士試験のための勉強だけに留まらず、実務での考え方や背景について学ぶ機会が多く、定型的でない問題が出た際に非常に役に立ちました。また学修環境においても設備はもちろんですが、同期、先輩・後輩との距離が近く質問しあうなど切磋琢磨する環境がありました。これは長い受験生活の中で心理的な助けにもなりましたし、卒業後も関係が続く貴重な機会だったと思います。会計士のキャリアは各々で全く異なります。本学ASにおいて教授陣、実務家の先生方も同じキャリアの方はいません。そのような環境に身を置きながら学修する機会は、キャリアを考える意味でも有用だと思いますので、ぜひ本学ASで学んでいただければと思います。



会計専門職体験談

CASE

1

大阪国税局 勤務

可能性を広げるチャンス

藤中 莉那さん FUJINAKA Rina 2015年3月修了

私が関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）に進学しようと思ったきっかけは、大学3年次生で就職活動の準備を始めた際に、以前から学んでいた会計という分野は今後さらなる進化を遂げ、社会において必要となってくるのではないかと考えたからです。その中でも本学ASは、会計士のみならず、税理士をめざしている人や、一般企業の経理として高いスキルをもって活躍したい人などさまざまな人が在籍しており、いろいろな価値観の人々と授業などを通じて交流することで、在籍中に自分が今後どのように生きていきたいかを考えることができました。

在学中は、本学ASの充実した施設やカリキュラムを活用し、伸び伸びとした環境の中で学修することで、国家公務員試験の合格のみならず、FPやBATICなどの資格も取得することができました。

本学ASから国税専門官をめざす人はあまり多くはないかもしれませんが、在学中に授業で租税に触れていたおかげで有意義な職員人生を送ることができています。是非皆さんも本学ASでさまざまな可能性を広げてみてください！



CASE

2

あすか税理士法人 勤務

これからの選択肢を広げるために

中村 麻侑子さん NAKAMURA Mayuko 2021年3月修了

私は税理士資格取得をめざす過程で、関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）へ入学しました。税法に属する論文で学位を取得し、国税審議会の認定を受けると税理士試験の税法2科目の免除を受けることができます。数ある大学院の中、本学ASを選んだのは、特徴ともいえる財務会計・管理会計・監査・民法等の視点を学びたかったからです。また、本学ASでは同じく税理士をめざす人、会計士、一般企業の経理等、会計に携わる多くの方と意見交換をする時間があります。実際の税理士業務においてクライアントからは、税務の知識だけでは答えられないさまざまなご相談があるため、本学ASでの経験は本当に貴重なものだったと今となって思います。そして私自身は、本学ASでの講義がきっかけで国際税務に携わりたいと思うようになりました。大学院の時間をどう過ごすかは、人によってさまざまだと思います。ただ一ついえるのは、皆さんがめざす目標には必要でないように思える講義の受講も強くお勧めします。修了した後に、生きてくるものがきっと沢山あるはずです。



公認会計士試験合格者状況

過去3年間実績

※（ ）内は内数で、在学生合格者数を示す。

合格年度	合格者数	主な就職先
2020年度	6名(2名)	EY新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、PwCあらた有限責任監査法人、優成監査法人（現太陽有限責任監査法人） ほか
2021年度	6名(2名)	
2022年度	10名(4名)	

教員スタッフ

大西 靖 教授

ONISHI Yasushi



■ 担当科目

中級工業簿記、上級管理会計論、ソリューション各科目

■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- ・「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士(経営学) 神戸大学の学位取得
- ・著書は『環境経営イノベーションの理論と実践』(中央経済社) (共著)。発表論文は「Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company」(共著)、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント: アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数

清水 涼子 教授

SHIMIZU Ryoko



■ 担当科目

会計専門職業倫理、自治体マネジメントと監査*

■ プロフィール

- ・東京大学法学部卒業
- ・公認会計士
- ・みずほ監査法人において約18年間勤務。途中、監査部門から公共セクター部に移籍。公共セクター部では、公的機関への監査及びコンサルティング、海外の公会計先進国の実務の調査研究業務等に従事
- ・国際会計士連盟公会計委員会日本代表委員等(04年1月～06年12月)、財務省、総務省等政府関係審議会委員、東京都、大阪府等地方公共団体関係審議会委員を務める。
- ・主な著書として、『地方自治体の監査と内部統制—2020年改正制度の意義と米英との比較』(同文館出版)、『公会計の基礎知識—各国基準と国際公会計基準—』(朝陽会)ほか多数

加藤 久明 教授

KATO Hisaaki



■ 担当科目

中級商業簿記、上級簿記論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
- ・「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究—アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて—」により博士(経営学) 立命館大学の学位取得
- ・主な著書として、『現代リース会計論』(中央経済社)、『リース会計基準の論理』(税務経理協会) (共著)、発表論文として、「リース会計基準の改定動向に関する分析と検討」、「IASBとFASBの新しいリース会計基準に関する比較考察」ほか多数

富田 知嗣 教授

TOMITA Satoshi



■ 担当科目

上級財務会計論、会計基準論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・名古屋市立大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
- ・「利益平準化のメカニズム」により博士(商学) 関西大学の学位取得
- ・公認会計士
- ・主な著書として、『利益平準化のメカニズム』(中央経済社)、『倒産指数』(日本経済新聞社)、発表論文として、「新会計基準による連結予測利益の精度への影響」、「ITによる会計への影響—会計情報システムと法制度の考察—」ほか多数

柴 健次 教授

SHIBA Kenji



■ 担当科目

会計制度論、公会計論*、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程中退
- ・「市場化の会計学」により博士(商学) 関西大学の学位取得
- ・日本会計研究学会理事、政府会計学会顧問、日本会計教育学会顧問、日本経済会計学会(旧日本ディスクロージャー研究学会) 名誉会長、その他諸学会理事・評議員等、元税理士試験委員・公認会計士試験委員等
- ・91年「金融資産の証券化と資産の認識」により日本会計研究学会賞を受賞
- ・主な著書として『テキスト金融情報会計』『市場化の会計学』(以上、中央経済社)、『外貨換算会計論』(大阪府立大学)、『自己株式とストック・オプションの会計』(新世社)

中村 繁隆 教授

NAKAMURA Shigetaka



■ 担当科目

法人税法、租税法理論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・関西大学大学院法学研究科法学・政治学専攻博士課程後期課程修了
- ・「クロス・ボーダー組織再編成と課税」により、博士(法学) 関西大学の学位取得
- ・「課税繰延べ防止策の研究—FIF (Foreign Investment Fund) ルールを主題として—」により、第28回日税研究賞(研究者の部)を受賞
- ・著書として、『教材国際租税法 新版』(慈学社出版) (分担執筆)、発表論文として、『組織再編成から生じるクロス・ボーダーの課税問題』、『Cross-border Corporate Reorganizations and Non-discrimination Clauses—Focusing on Two Protocols in Japanese Tax Treaties—』ほか多数

●担当科目は、2023年度開講の各教員の担当科目を示す。

●現職は2023年4月現在

※は特殊講義として開講

松本 祥尚 教授

MATSUMOTO Yoshinao



■ 担当科目

監査制度論、監査報告論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
- ・日本監査研究学会会長、日本内部統制研究学会理事、Academy of Accounting Historians Trustee、会計大学院協会副理事長、金融庁企業会計審議会臨時委員、IAASB Official Observer for JFSA、元日本会計研究学会幹事、元会計大学院評価機構評価員、元公認会計士試験委員（監査論）
- ・主な著書として、『ベーシック監査論』（同文館出版）（共著）、『監査報告書論』（中央経済社）（共著）、『監査・証明業務の多様性に関する研究』（日本公認会計士協会出版局）（編著）、『公認会計士の将来像』（同文館出版）（共著）、『わが国監査報酬の実態と課題』（日本公認会計士協会出版局）（共著）、『会計士監査制度の再構築』（中央経済社）（共著）、『実証的監査理論の構築』（同文館）（共著）ほか多数

三島 徹也 教授

MISHIMA Tetsuya



■ 担当科目

企業法、会社法、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・関西大学大学院法学研究科私法学専攻博士課程後期課程単位修得後退学
- ・主な著書として、『プライマリー会社法（募集株式の発行等、新株予約権、社債）』（法律文化社）、『プライマリー商法総則・商行為法（商業帳簿）』（法律文化社）（いずれも共著）、発表論文として、『フランチャイザーの第三者に対する責任（一）（二完）』、『資本制度および剰余金の配当規制に関する一考察—ドイツ法における最低資本金および出資の払戻し規制を参考として—』ほか多数

宗岡 徹 教授

MUNEOKA Toru



■ 担当科目

インベストメント論、企業分析論、ソリューション各科目

■ プロフィール

- ・東京大学卒業、神戸商科大学大学院博士前期課程修了
- ・日本興業銀行で審査部、人事部、みずほ総合研究所主席研究員等。転職したソニーで年金企画部担当部長兼子会社執行役員。その後、関西大学大学院会計研究科教授（現）。（独）医薬品医療機器総合機構監事、東京大学客員教授（現）、上場企業の非常勤取締役（現）、非常勤監査役（現）等
- ・財務省「財政制度等審議会」委員、内閣府「経済財政諮問会議」委員、事業仕分け人。日本証券アナリスト協会試験委員会委員（現）、日本公認会計士協会委員会委員等
- ・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定会員、システム監査技術者等

特別任用教員

池上 しのぶ 教授

IKEGAMI Shinobu



■ 担当科目

会社経理実務、企業情報の読み方と使い方*、不正摘発監査論*

■ プロフィール

- ・神戸商科大学商経学部経営学科卒業
- ・公認会計士、税理士
- ・監査法人にて金融商品取引法監査、会社法監査、労働組合監査、社会福祉法人監査、医療法人監査業務に従事するとともに、池上公認会計士事務所にて、税務業務、内部統制構築支援業務、会計コンサルティング業務（連結会計支援等）等を行う。

小林 依子 教授

KOBAYASHI Yoriko



■ 担当科目

ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習、資本市場論*

■ プロフィール

- ・関西大学経済学部卒業
- ・公認会計士、税理士
- ・大学卒業後、大阪国税局に入局、管内税務署の法人課税部門にて法人税等調査等に従事
- ・その後十数年にわたり、有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法、会社法等の法定監査業務のほか、上場支援業務、財務調査、アドバイザリー等の業務に従事
- ・2013年より3年間、任期付国税審判官として大阪国税不服審判所に入所、国税に関する審査請求事件の審査に従事
- ・公認会計士・税理士事務所を開設、監査業務のほか、税務業務、組織再編等支援、価値評価業務等を行う。

福島 康生 教授

FUKUSHIMA Yasuo



■ 担当科目

監査基準論、会計事例研究、監査事例研究

■ プロフィール

- ・大阪大学経済学部卒業
- ・公認会計士
- ・有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法監査業務、上場準備企業への準金商法監査・財務調査・上場支援業務、会社法監査業務に従事
- ・主な監査経験業種は、精密機械メーカー、アパレル卸、医療器材・医薬卸、創業系ベンチャー、産業素材メーカー、電気通信業、テーマパーク、請負工事業等
- ・監査法人では事業部品質管理（主にIPO準備企業）・不正調査対応担当並びに大阪事務所非監査業務品質管理担当

和田 泰史 准教授

WADA Taishi



■ 担当科目

上級原価計算論、上級管理会計論

■ プロフィール

- ・関西学院大学大学院経営戦略研究科卒業
- ・公認会計士
- ・EY新日本有限責任監査法人において主に法定監査、株式公開支援等に従事するほか、各種セミナー講師等を担当。
- ・その後、和田泰史公認会計士事務所を設立し、株式公開支援、内部統制構築支援、財務調査、上場企業の決算支援業務等を行う。
- ・また、AKATUS合同会社を設立し、公営企業向けに経営戦略策定・改定支援、地方公営企業法適用支援、水道料金・下水道使用料改定支援、会計業務支援、内部統制構築支援、モニタリング支援等のサービスを提供。
- ・日本公認会計士協会近畿会 幹事、中堅若手委員会 副委員長、組織内会計士委員会 副委員長、地区会部 副部長を務める（現）。

客員教授



岩城 利明 氏

IWAKI Toshiaki

会計検査院
事務総長官房審議官
(官房 検査総括担当)



原田 大輔 氏

HARADA Daisuke

有限責任あずさ監査法人
専務理事(関西地区統轄、大阪事務所長)
公認会計士



藤沼 亜起 氏

FUJINUMA Tsuguoki

元国際会計士連盟会長
元日本公認会計士協会会長(現相談役)
元中央大学大学院ビジネススクール
特任教授(現CBSフェロー) など

兼任教員・兼任教員

浅野 信博 ASANO Nobuhiro

●現 職 大阪公立大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 英文会計論

岸本 達司 KISHIMOTO Tatsuji

●現 職 新世総合法律事務所 / 弁護士
●担当科目 企業法判例演習

古橋 孝志 FURUHASHI Takashi

●現 職 株式会社ジョブマテリアルズ 代表取締役
●担当科目 企業実践コミュニケーション

荒井 蔵 ARAI Iwao

●現 職 太陽有限責任監査法人 / 公認会計士 /
不動産鑑定士
●担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

吉良 勝明 KIRA Katsuki

●現 職 公認会計士 / 税理士 / 社会保険労務士
●担当科目 内部監査論、特殊講義(コンサルティング実務)

古屋敷 博文 FURUYASHIKI Hirofumi

●現 職 古屋敷税理士事務所 / 税理士
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

新井 康平 ARAI Kohei

●現 職 大阪公立大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 マネジメント・コントロール・システム論
国際管理会計事例研究

久保田 浩文 KUBOTA Hirofumi

●現 職 大手前大学経営学部 教授 / 公認会計士
●担当科目 組織再編会計論

堀竹 学 HORITAKE Manabu

●現 職 追手門学院大学法学部 教授
●担当科目 民法、特殊講義(民法[債権])

飯田 俊治 IIDA Toshiharu

●現 職 EY新日本有限責任監査法人 / 公認会計士
●担当科目 特殊講義(国際監査事例研究)

坂口 順也 SAKAGUCHI Junya

●現 職 名古屋大学大学院経済学研究科 教授
●担当科目 戦略管理会計論

松井 隆雄 MATSUI Takao

●現 職 公認会計士
●担当科目 特殊講義(BATIC演習)

石原 美保 ISHIHARA Miho

●現 職 石原公認会計士・税理士事務所 / 公認会計士
●担当科目 特殊講義(企業情報の読み方と使い方)

佐久間 智広 SAKUMA Tomohiro

●現 職 神戸大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 国際管理会計事例研究

松浦 総一 MATSUURA Soichi

●現 職 立命館大学経営学部 准教授
●担当科目 税務事例研究

牛島 慶太 USHIJIMA Keita

●現 職 牛島慶太税理士事務所 / 税理士
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

筒井 万理子 TSUTSUI Mariko

●現 職 近畿大学経営学部 教授
●担当科目 経営戦略・組織論

毛利 亮太 MORI Ryota

●現 職 公認会計士 / 税理士
●担当科目 特殊講義(IFRS演習)

内田 聡 UCHIDA Satoshi

●現 職 EY新日本有限責任監査法人 / 公認会計士
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

中丁 卓也 NAKACHO Takuya

●現 職 公認会計士 / アクア・アンド・カンパニー
株式会社代表取締役 / パートナー
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

弓場 啓司 YUMIBA Keiji

●現 職 公認会計士 / 一般社団法人国際コンピュータ
利用監査教育協会代表理事
●担当科目 特殊講義(実践デジタル監査演習・ICAEA JAPAN寄附講座)

榎本 成一 ENOMOTO Seichi

●現 職 株式会社iBridge Japan 代表取締役 / 公認会計士
●担当科目 コストマネジメント論

野口 卓士 NOGUCHI Takashi

●現 職 税理士
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

山田 善隆 YAMADA Yoshitaka

●現 職 PwC京都監査法人 / 公認会計士(日本・米国)
●担当科目 監査実施論

大塚 勝弘 OTSUKA Katsuhiro

●現 職 大塚勝弘公認会計士事務所 / 公認会計士
●担当科目 特殊講義(新規ビジネスの立上げと成長戦略)

野田 敏男 NODA Toshio

●現 職 野田会計事務所 / 公認会計士 / 税理士
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

良永 康平 YOSHINAGA Kohei

●現 職 関西大学経済学部 教授
●担当科目 統計学

郭 雪如 KAKU Yukiko

●現 職 有限責任監査法人トーマツ / 公認会計士
●担当科目 IFRS事例研究

早川 翔 HAYAKAWA sho

●現 職 流通科学大学商学部 准教授
●担当科目 管理会計事例研究

米山 高志 YONEYAMA Takashi

●現 職 公認会計士 / 税理士
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

笠井 直樹 KASAI Naoki

●現 職 滋賀大学経済学部 准教授
●担当科目 国際監査基準論

韓 池 HAN Chi

●現 職 大阪公立大学経済学研究科 教授
●担当科目 特殊講義(会計専門職業数学)

上林 憲雄 KAMBAYASHI Norio

●現 職 神戸大学大学院経営学研究科 教授
●担当科目 経営学理論

広瀬 憲三 HIROSE Kenzo

●現 職 関西学院大学商学部 教授
●担当科目 ミクロ経済学、マクロ経済学

●現職は2023年4月現在

●担当科目は、2023年度開講の各教員の担当科目を示す。

学費・諸費／奨学制度

学費・諸費(2年コース)

2024年度入学者の学費・諸費は次のとおりです。長期履修学生制度(3年コース・4年コース)の学費については、学生募集要項をご確認ください。

種 別	区 分	2024年度		2025年度以降(年間)
		入学初学期	秋学期	
学 費	入 学 金	260,000円		
	授 業 料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸 費	校 友 会 基 本 会 費	10,000円		20,000円
合 計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科学則第26条第11号に規定する者(飛び入学する者)が、会計研究科(専門職大学院)へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学生が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学(大学院含む)出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト(<https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>)にてお知らせします。外国人留学生(在留資格が「留学」)の方は、関西大学国際部へお問い合わせください。

①関西大学大学院会計研究科(会計専門職大学院)給付奨学金(2024年度予定)

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
高度な資格取得者(学部卒業見込者(飛び級を含む)、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者)		
ア 公認会計士試験(論文式) 1科目以上合格者	年間132万円(授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験(短答式)合格者	年間132万円(授業料の全額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
ウ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間66万円(授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円(入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)
入 試 成 績 優 秀 者	年間132万円(授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または	
	年間132万円(授業料の全額相当額) 1年間※3	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または	
	年間66万円(授業料の半額相当額) 1年間※3	▶▶ 93万円(入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学生(1年間全額または半額給付)に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

②日本学生支援機構奨学金(2023年度現行)

第一種奨学金(無利子)	貸与月額 50,000円、88,000円から選択
第二種奨学金(有利子)	貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」等の制度もあります。詳細につきましては、学生センター奨学支援グループまでお問い合わせください。

2024年度 入学試験日程

日 程	7月募集	10月募集※2	1月募集※2	3月募集※2
入試種別※1(方式)	一般〔学力・素養〕 学内進学 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般〔学力・素養〕 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人	一般〔学力・素養〕 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般〔学力〕 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人
試験地	大 阪			
Webエントリー期間	2023年 6月19日(月) }	2023年10月 3日(火) }	2023年12月19日(火) }	2024年 2月13日(火) }
入学検定料納入期間	2023年 6月26日(月)	2023年10月10日(火)	2024年 1月 9日(火)	2024年 2月20日(火)
出願書類提出期間	消印有効	消印有効	消印有効	消印有効
試験日	2023年 7月 9日(日)	2023年10月22日(日)	2024年 1月21日(日)	2024年 3月 2日(土)
合格者発表日	2023年 7月14日(金)	2023年10月27日(金)	2024年 1月26日(金)	2024年 3月 8日(金)

※1 募集人員の内訳は、一般25名、学内進学10名、その他若干名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。

※2 10月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。

※3 その他入試として、指定校推薦入試、留学生別科特別入試を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

2024年度 入学試験科目

区 分	方 式	試 験 科 目
一 般 入 学 試 験	学力重視方式	筆記試験(簿記および原価計算)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学 内 進 学 試 験		書類選考および面接
早 期 卒 業 者 特 別 入 学 試 験		書類選考および面接
公 募 制 推 薦 入 学 試 験		書類選考および面接
資 格 取 得 者 ・ 社 会 人 入 学 試 験		書類選考および面接

入学試験結果

	2021年度			2022年度			2023年度		
	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学
一般入試	123	45	32	95	41	31	136	38	25
学内進学試験	13	13	12	14	14	12	19	19	15
早期卒業者特別入試	3	3	3	0	0	0	1	1	1
公募制推薦入試	0	0	0	2	2	1	6	6	3
指定校推薦入試	8	8	8	5	5	4	2	2	1
外国人留学生入試※	6	2	2	0	0	0	2	2	2
資格取得者・社会人入試	5	4	3	11	8	6	4	2	0
合 計	158	75	60	127	70	54	170	70	47

※ 外国人留学生入試(2022年度から募集停止)には留学生別科特別入試の人数を含みます。

2023年度 進学説明会等日程



進学説明会

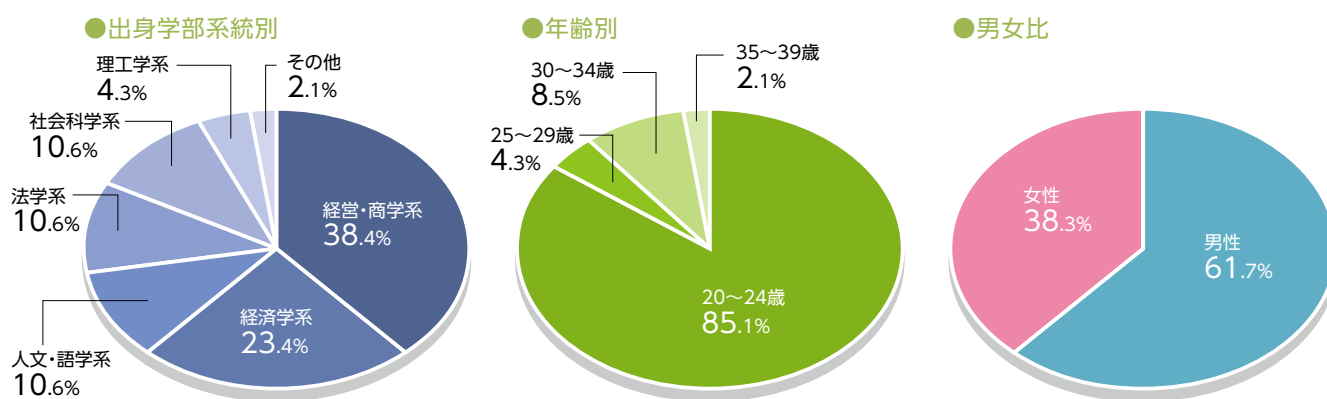
6月 3日(土)	14:00～15:30	研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答	対面および Zoomによる ハイブリッド形式	Zoomのみ 事前申込制
9月30日(土)		研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答+在学生または修了生による体験談、質疑応答		
12月16日(土)		研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答		
1月27日(土)		研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答+在学生または修了生による体験談、質疑応答		

保護者対象 進学説明会

5月27日(土)	14:00～15:30	研究科概要説明、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答	対面および Zoomによる ハイブリッド形式	Zoomのみ 事前申込制
----------	-------------	------------------------------------	------------------------------	-----------------

○ 進学説明会等の日程については、やむを得ず変更することがあります。最新の情報は、関西大学会計専門職大学院ウェブサイトでご確認ください。

2023年度 入学者データ



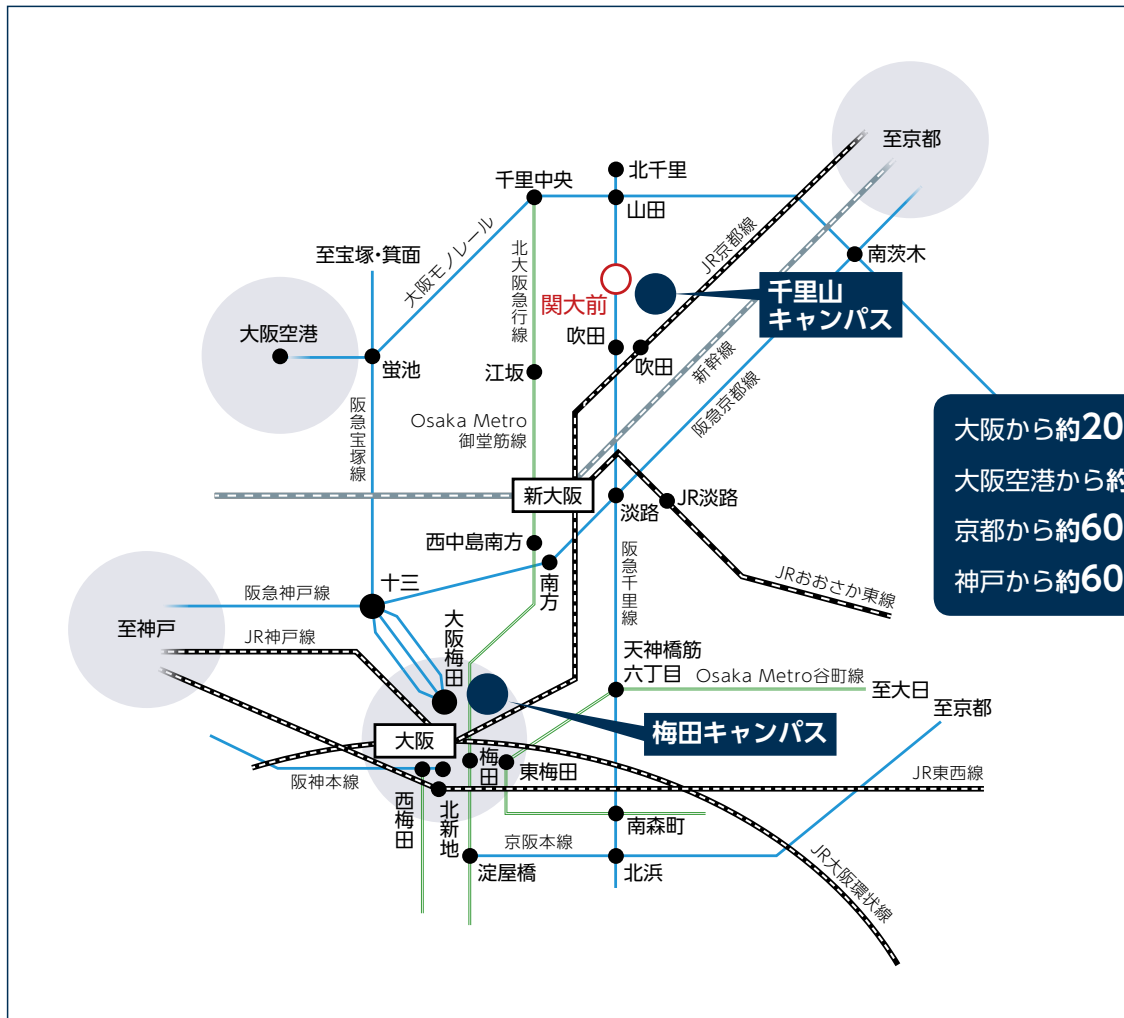
長期履修学生制度

入学者の多様な学修ニーズに対応するため、長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しています。

この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間となります。

		1年次	2年次	3年次	4年次
3年 コース	履修制限単位	22単位	22単位	20単位	
	履修科目	2年コースの1年次配当科目	2年コースの2年次配当科目		
4年 コース	履修制限単位	16単位	16単位	16単位	16単位
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	

Access Map



関西大学 会計専門職大学院

問い合わせ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 入試センター 大学院入試グループ
TEL:06-6368-1121(大代表)
E-mail: grd-adm@ml.kandai.jp

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/as/>

